

株式会社光文社



画期的なコンセプトを持つセキュア インターネット ゲートウェイ
「Cisco Umbrella」の導入が低コスト、低負荷で高いセキュリティ レベルを実現



製品 & サービス

Cisco Umbrella

悪意あるサイトへの接続を DNS やプロキシ機能でブロックする、全く新しい発想のクラウド セキュリティ サービスです。社内、社外を問わずすべてのユーザを簡単に保護でき、インターネット上の脅威による被害をいち早く防ぎます。



課題

マルウェア、DNS トンネリングといった攻撃に対しては、既存のシステムでは対処が難しかった

ソリューション

DNS のレイヤーでセキュリティ対策ができるセキュア インターネット ゲートウェイ「Cisco Umbrella」の導入

結果～今後

トライアル環境のまま本番導入ができたため、簡単かつ最小限のスタッフと工数で導入を実現した

1945 年創業の大手総合出版社である株式会社光文社。週刊誌、月刊誌、文芸誌、一般書籍、コミックと幅広いジャンルの刊行物を発行しています。戦後間もなく新書レベル「カップ・ブックス」を立ち上げ、新書ブームの火付け役となり、現在は特に女性誌に強みを持ち、人気雑誌「VERY」を筆頭に多数の人気雑誌をラインアップ。またミステリー文学にも注力しており、日本ミステリー文学大賞を主催するなど、ミステリー文学の普及に力を注いでいます。

既存システム変更が少ないこと、導入負荷が少ないこと、導入後の管理負荷が軽いこと、エンド ユーザに特別な教育が不要でさらには導入したことを意識する必要がないこと、そしてクラウドサービス利用時のパフォーマンスに影響を与えないことを条件に設定しましたが、Cisco Umbrella はこれらの要求を簡単にクリアしてくれました。

—— 株式会社光文社 情報システム部 副部長 畠山 雄一 氏

アナログな業務が多いと思われるがちな出版業界ですが、取材、編集といった制作現場において、インターネットの利用や IT の活用は欠かすことができません。また本社においては、業務の特性上、社員だけでなく、ライターやパートナー会社といった外部スタッフも同社のネットワークを使ってインターネットにアクセスします。こうした背景を踏まえ、誰もがインターネットにストレスなくアクセスでき、かつ堅牢なセキュリティ環境が必要不可欠だったので。

課題

数年前の同社のセキュリティ環境は、ファイアウォールとウイルス チェック ソフトという当時としてはごく一般的な仕組みを利用していました。この仕組みでは、既知の攻撃はある程度侵入を防ぐことができますが、メールに添付されたファイルや、WEB アクセスした先から感染するマルウェア、DNS トンネリングといった対処方法の難しい攻撃の場合には別の対抗策が必要になります。当時の課題を、光文社 情報システム部 副部長の畠山雄一氏はこのように語ります。「セキュリティ対策の一部として、最初はプロキシ サーバをベースとしたセキュリティ製品の導入を対策の最有力候補として考えていました。しかし、プロキシ サーバの導入には時間もコストもかかる上、セキュリティ ポリシーの設定も手間がかかり、使用しているクラウド サービスを使った場合の負荷も考慮しなくてはならないことから、ほかに適切なシステムがないか模索していました」。



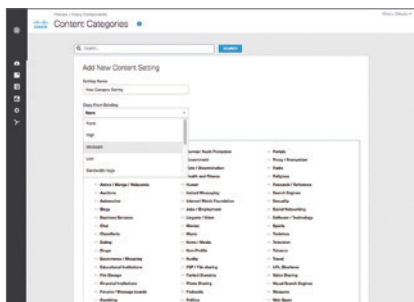
株式会社光文社
情報システム部 副部長
嶋山 雄一 氏

ソリューション

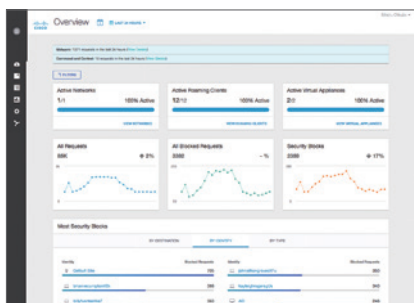
すでに同社のネットワーク関連機器にシスコ製品が導入されていたことから、シスコの担当者から「Cisco Umbrella」を紹介されました。早速トライアルで Cisco Umbrella を導入。トライアル期間の約 1 ヶ月ほどで、すぐに Cisco Umbrella の優位性を実感できた嶋山氏は話します。「このときチェック項目にしたのが、既存システム変更が少ないこと、導入負荷が少ないこと、導入後の管理負荷が軽いこと、エンド ユーザーに特別な教育が不要でさらには導入したことを意識する必要がないこと、そしてクラウド サービス利用時のパフォーマンスに影響を与えないことでした。これらの要件を Cisco Umbrella は簡単にクリアしてくれました」。

トライアル時に実施した主な設定はポリシー設定です。例えばテロ組織やギャンブルといった一般企業では禁止しているようなサイトへのアクセスが、同社では業務上必要になる場合があります。しかしセキュリティ レベルの高い設定だとこうしたサイトへのアクセスがブロックされてしまいます。Cisco Umbrella 上でのポリシー設定は、Cisco Umbrella の標準的なポリシーに例外 URL を付加するだけで簡単に実施できるようになっています。また管理画面も使いやすく、運用面での懸念を払拭できたそうです。

結果～今後



ポリシー設定は該当する項目にチェックを入れるだけで完了する



必要な情報はすべてダッシュボードに集約される

新しいシステムの導入となると、既存システムとの親和性や、想定外のエンド ユーザーのアクションなどが、トライアル段階ではチェックから漏れてしまうことがあります。しかし Cisco Umbrella ではそのようなチェック漏れがなく、本番導入もトライアル環境のまま開始できるので、簡単かつ最小限のスタッフと工数で実現できました。

導入後の運用については、Cisco Umbrella のダッシュボード機能が役立っているそうです。情報はすべてダッシュボード上に表示されるため、ネットワークの専門エンジニアでなくても使えるよう配慮されています。

理想的なセキュリティ環境を手に入れた先の展望を、嶋山氏はこのように話します。「弊社ではモバイル端末の利用者が多く、将来的にリモート アクセスへの要求が多くなると予想しています。Cisco Umbrella ローミング クライアントの導入検討など、シスコの協力を得て、オフィスの外からでも安全な環境を実現したいと考えています」。

株式会社光文社

光文社
kobunsha

本社所在地 東京都文京区音羽 1-16-6
創立 1945年10月1日

資本金 1,800万円
業種 雑誌・書籍の出版など

規模 従業員数 289名
URL <https://www.kobunsha.com/>

1945年創業の大手総合出版社。古くは「鉄腕アトム」「鉄人28号」を掲載した月刊誌「少年」に続き「少女」を刊行。漫画以外にも児童書や、松本清張に代表されるミステリー小説、新書レーベル「カッパ・ブックス」など出版ジャンルを拡大。近年は文庫新書分野にも参入し、新しい古典文学の楽しみ方を現代人に届ける「光文社古典新訳文庫」が注目を集めている。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 1 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先